

<学校名> 草加市立川柳中学校
<所在地> 草加市青柳7-35-1
<電話> 048-931-5827
<本事例の特徴>

本校に勤務するALTは非常に友好的で自らすすんで生徒と交流している。生徒もALTが好きで自然な形で国際交流が行われている。ALTと生徒たちの交流の場面をいくつか挙げる。

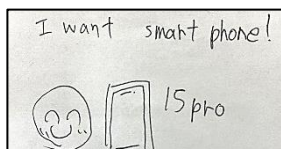
<具体的な取組や成果>

○English Board

生徒とALTの交流の場を増やすというねらいから、ALTが自発的にEnglish Boardを作成し、定期的に更新している。場所は職員室前の壁面を使用している。生徒の行き来が多い場所であり、ALTが積極的に声をかけてボード内のアクティビティへの参加を促している。楽しそうに談笑しながら英語に触れる姿が見られた。

内容は、生徒がトピックに対し自由にコメントを残せるコーナーや(図1)、すごろく形式のクイズなど(図2)、興味関心を高める仕組みで構成されている。

(図1)



(図2)



What do you want for Christmas?という問いに対して絵を添えて答えるコーナー(左:ALTの例、右:生徒の解答)

さいころを振って止まったところのプレゼントを開くと質問が出てくるゲーム。正解するとステッカーがもらえる。

【生徒の感想】

- ・マイケル先生が声をかけてくれたのでゲームに参加しました。シールがもらえてうれしかったです。またやりたいです。
- ・マイケル先生と一緒にゲームをやりました。知らない先輩も一緒にやりました。先生の英語も少しわかったしクイズも正解して楽しかったです。
- ・マイケル先生の絵が上手でとてもびっくりしました。

○特別支援学級との交流

特別支援学級で、週2回英語の授業をしている。また、「作業」の授業で行われた陶芸教室では、ALTも参加し、生徒と交流しながらともに制作に取り組んだ。特別支援学級の生徒たちもALTに対して心を開いて接している。



○体育の授業や部活動への参加

授業の合間や、放課後は校内を自ら巡視しいくつかの部活動に参加している。ALTから積極的に英語で話しかけコミュニケーションをとりながら活動している。